



山崎 直子さん

山崎 このまま訓練を続けても、宇宙に行ける

市長 それでも、訓練を続けながら、実際に宇宙に行くまでに11年の歳月がかかったとお聞きしました。その間にくじけそうになったことや、また、そうした状況乗り越えて高いモチベーションを維持し続ける秘訣などありますか。

山崎 日本は宇宙船を持っていませんので、訓練はアメリカやロシアなどで行いました。訓練にはサバイバル訓練のような、体への負荷が大きいものもありますし、座学もたくさんあります。ですが、私には「宇宙飛行士の仕事が好き、おもしろいなあ」という、初心というか純粹な気持ちがあったので、それが頑張る糧となり、やり通せたのだと思います。

市長 経済大国日本から9人とはかなり少ないですね。ところで宇宙飛行士の訓練は厳しいものだと思いますが、厳しさに耐えうる根性や精神はどういうところからくるのですか。

2010年4月、スペースシャトル「ディスカバリー」で宇宙へ旅立ち、国際宇宙ステーション組み立てミッションに参加した宇宙飛行士の山崎直子さん。この大仕事をやり遂げるまでには長く険しい道のりがありました。

1999年に宇宙飛行士候補に選ばれてから、宇宙飛行の実現までに要した歳月は11年。2003年、スペースシャトル「コロンビア」が空中分解し、搭乗者全員が亡くなるという大惨事を受け、その後の宇宙飛行再開の目途が立たないまま、訓練を続けることになりました。

確たるゴールが見えない中で、モチベーションを維持し、宇宙飛行を成し遂げた山崎さんに「夢の実現」についてお話を伺いました。



Dreams Come True!

夢はかなう！

山崎 直子さん × 藤井 勇治

宇宙飛行士

長浜市長

市長 勉強やスポーツなど、何事においても練習・訓練をする努力が大切ですね。
最後に長浜の子ども達へ希望のメッセージをお願いします。

山崎 宇宙飛行には、やはりリスクが伴いますので、ミッションの前には遺書を書きました。でも、恐怖感はそのほどありませんでした。というのも、訓練の9割が非常時の対応に関するものでしたから。機器が故障した場合や、事故が起きた場合を想定し、対処や脱出の訓練を繰り返しているうちに、怖さがなくなりました。

市長 「宇宙に行く」という確固たる目標達成のため、本気で取り組んでこられたからこそですね。
本市の職員にも、「本気でやるから大抵のことができる、本気でやるから何でもおもしろくなる、本気でしているから誰かが助けてくれる」と伝えていきます。物事に本気で取り組むことは、当たり前のことですが、大切なことです。
ところで、いざ宇宙に飛び立ったとき、恐怖感はありませんでしたか。

確証がないという点では不安や苦勞もありました。でも、やっている訓練一つ一つが楽しいと感じていましたし、教官、仲間などいろいろな人の支えがあったことが、続けられた大きな要因だと思います。

市長 市という、市民生活と直結している基礎自治体が担う最も重要な仕事は、教育と福祉だと思っています。特に子どもは本市の未来を担う宝です。その意味において今日のお話は、子ども達に夢を実現するための心構えをご教示いただけたと感謝いたします。本日は、どうもありがとうございました。

世の中はどんどん変化し、進歩していきますが、世の中を動かしているのは最終的には「人」です。宇宙開発の分野も、人工衛星やロケットなど機械的に見えますが、それを作ったり、動かしているのは「人」なのです。
まずは、目の前にある事をおろそかにしないこと。そして、しっかり学び、自己を磨きつつ、一度や二度であきらめない。自分はどうしたいのか、信念を持つて取り組んでほしいですね。

たいてい欲しいです。ただ、羽ばたくためには、まず自分の足元をしっかり固めることが必要です。それには、自分の故郷のことをしっかり学び、そして故郷を愛し、誇りを持つことが大切



藤井 勇治 市長

市長 なかなか宇宙飛行士への道は厳しいですね。宇宙飛行士になろうとする人はどれくらいいるのですか。
山崎 私が受験したときは、864人中3人が候補者に選ばれました。世界で宇宙に行った宇宙飛行士は現在500人ほどですが、そのうち日本人は9人しかいません。

市長 人工衛星・ロケットを開発するエンジニアとして宇宙開発事業団（現宇宙航空研究開発機構）で働いていました。大学などを卒業して、いきなり宇宙飛行士になる人はいません。誰もが実務経験を積んだうえで宇宙飛行士になります。

市長 宇宙飛行士になるまでにどんなキャリアを積まれましたか。

山崎 子どもの頃は、自然のなかでの昆虫観察など外遊びが好きでした。星空や宇宙に興味を持ち始めたのもそのころからです。
中学3年生の時に、スペースシャトル・チャレンジャー号の爆発で乗組員全員が亡くなる悲しい事故をテレビで見ました。その時初めて、宇宙と宇宙飛行士がつながり、宇宙飛行士という職業を意識し、どんどん宇宙の道へ進むようになりました。